

香教連・教文研セミナー（香教連・教文研会員限定）

無理難題の保護者とどう向き合えばいいのか

学校現場における働き方改革において、一番の障壁になるのが“保護者対応”です。その難しさから、教員の心も蝕んでいきます。香教連では、保護者対応の在り方を「遠隔研修」にて、会員の皆様に提供いたします。本年度から本会の嘱託専従に就任された鳴門教育大学名誉教授である阪根健二氏が、1時間程度のミニ研修会を開催いたします。夜間の開催ですので、ご自宅でも学校からでも参加可能です。なお、この研修は『生徒指導のリスクマネジメント（教育開発研究所）』で掲載された実践研究から提供されるもので、今悩まれている会員には明日からの職務に資するものです。対面会場は、鳴門教育大学地域共創棟2階ですが、そこからの同時中継であり、遠隔からの質問も受け付けます。

日時：令和7年 6月17日（火） 19時30分から

場所：鳴門教育大学地域連携共創棟 （Zoom配信あり）

講師：鳴門教育大学 名誉教授 阪根健二氏

（香川県教職員連盟 嘱託副委員長）



内容：なぜ保護者は無理難題を学校にぶつけてくるのか、何を求めているのか、その心理と対応策とは

保護者は自分の子供時代の教師との信頼関係が、そのまま自分に子どもに投影されるといった心理状態になっていることが多いようです。そうした心理を理解した上で適切に対応しないと、対立関係だけがクルーズアップされるのです。感情的な対応では前進しません。理性的対応とはどうすればいいのか、“喋り方”や“文言”といった具体例も示していきます。会員の皆様はお気軽にご参加ください。

Zoomでの参加者へ

ID: 207 411 8445 パスコード: 480077（事前にID等を公開いたします）

（開催10分前頃に接続してください） 申し込みの必要はありませんが、必ず所属と氏名を記入しておいてください。（会員外は接続できません/複数での視聴の場合は、会員がいれば接続可能です。氏名・学校名不詳の場合は接続を遮断します。） また、香管協及び大学関係者においては、“特別公開講座”として接続可能です。

もし、学校名や氏名公開をしたくない会員は、事前にメールで申し込んでいただくと、接続用のニックネームを返送します。（そのニックネームで接続できます。学校名や氏名は他に出ないようにいたします。）

申し込みメール kakyouren@gmail.com

